

太鼓の取扱いについて

1. 太鼓の特質

- 太鼓の音は湿度に影響され、湿気の多いときは音が低く、乾燥しているときは、音が高くなります。

2. 使用上の注意

- 革に雨や酒等、濡れたまま叩くと革が伸びたり、傷んだりします。特に酒の場合、革が乾いた後も糖分が残り、音が悪くなったり、ベト付きやカビの原因になったりしますので御注意下さい。
- 炎天下、直射日光下に長時間置くと、胴のヒビ・割れの原因になりますので御注意下さい。

3. 手入れ

- 太鼓が濡れた場合は速やかに拭き、風通しの良い日陰で自然乾燥させて下さい。胴まで浸透している場合、直射日光で急激に乾燥させると胴のヒビ・割れの原因になりますので御注意下さい。

4. 保管

- 太鼓を保管する際は、風通しの良い日陰で3～4時間、湿気を取ってから保管して下さい。
- 太鼓の革面を下側にして置かないで下さい。湿気が革に入り、カビ・傷の原因になり、音に影響しますので御注意下さい。
- 通気性のない防水カバー・ケースで保管する場合は、太鼓だけでなく、カバー・ケースもよく乾燥させてから御使用下さい。

各種太鼓製造販売
株式会社 柳澤臣太郎商店
代表取締役 柳澤尚宣
〒436-0047 静岡県掛川市長谷316
TEL:0537-22-2444 FAX:0537-22-2614